

生駒市ごみ減量市民会議(H29年度第4回) 会議録(要旨)

1. 開催日時 平成29年12月20日(水) 午後1時30分～午後2時40分
2. 市役所4階401・402会議室
3. 会議次第

報告事項

- (1) いこま魅力博での啓発活動について
- (2) 自治会懇談会について
  - ・ひかりが丘自治会
  - ・壺分町西自治会
- (3) 生ごみ処理器「キエーロ」アンケート集計結果

協議事項

- (1) 先進地視察研修について
- (2) エコクッキング教室について
- (3) ごみ減量市民会議活動実績総括について

4. 出席者(敬称略)

【参加者】坂本 剛伸、藤堂 宏子、藤澤 清二、永野 洋子、山下 博史、藤尾 庸子、  
下山 一則、奥田 高弘、小山 忠昭、山口 昭夫、藤中 章夫、寺井 孝幸、  
大隈 利明

【事務局】吉岡(市民部長)、吉川(環境保全課長)、竹本(環境保全課主幹)、大窪(環  
境モデル都市推進課課長補佐)、西井(環境保全課事業係長)

5. 欠席者(敬称略)石川 千明、田中 勝久

6. 傍聴者 1名

7. 会議内容(要旨)

報告事項

●いこま魅力博での啓発活動について

事務局 <資料 いこま魅力博啓発活動実施結果報告>

座長 事務局の説明に質問等ございませんか。

参加者 報告の中で、「生ごみ処理器を使っていますか。」という質問で「①はい」99名(18.5%)「②いいえ」436名(81.5%)となっているが、今までやって来た中で行政としてどのような考えですか。

事務局 有料化前から取り組んで、補助金も充実させてきたが、中々普及はしていない。特にキエーロの普及率は低い。今後も補助金等の継続は必要と考えている。機械式は一時1000台を超える購入者があったが、機械式のデメリットもあるので、今後は、キエーロを中心に、普及の啓発をしていきたい。

参加者 今までやってきて、何故こういう状態になっているかという分析をしてほしい。

原因が解らないと取り組めない。小学校での取り組みはやってきているが、家庭で進めるのは難しい。分析ができずに資料がないと自治会の懇談会も開けない。

座長 そういう見方もあるが、逆に今回のいこま魅力博で16名のモニター参加者がでた。シールアンケートの中でキエーロの質問をして、横にキエーロの実物を置いてそれで説明すると「こういう物なんだ」と理解してもらえた。多いとみるか少ないとみるかがあるが、私は16名も参加してもらったと思っている。ひかりが丘自治会や壺分町西自治会でも、実物のキエーロを持参して説明するとモニター参加者が増えてきているという現状です。いこま魅力博でやり方によってはキエーロが普及していくということを掴んだと思っている。

参加者 生ごみ処理器の普及率は個人的には予想どおりだと思っている。予想より多いという表現は違うと思うが、これがもしも30%使っているという結果が出たらびっくりしたと思う。更に増やしていくというのであれば、いくら補助金を出しても、興味のある人は既に購入されていると思う。座長が仰ったように、直接対面してご説明して興味を持っていただくという行動を積み重ねていかない限りは、生ごみ処理器をたくさんの人に使っていただくことに特化して考えることは難しいと思います。通常の市民感覚としてはこのぐらいの普及率が現状なんだろうと思っている。生駒市民の5割が生ごみ処理器を使うのは、家庭の事情もあるし興味を持っていただけるかも知るので困難だと思います。

事務局 キエーロのメリットや使い方がわからないということが普及しないということもあるが、使い方の資料も作りなおしましたが、使いやすさとかをPRしていけば、やってみようという人も出てくると思います。いこま魅力博でもそういう方もおられました。仰っていただいた取り組みを今後も継続して実施していきたいと思います。

参加者 このアンケートで1番の問題と思うことは、どちらかと言えば環境に興味があると思われる「いこま魅力博」にいられている方に対する質問で、キエーロを知っていますかという質問で3分の2の方が知らないと答えていることだ。PR不足もあると思う。

事務局 私は、「はい」が32%おられるのがおかしいと思いました。それはただ名前を知っているだけ、または見たことがあるだけだと思います。この中で使い方まで知っている人は本当に少ないと思います。だからそういうPRならばまだまだ必要だと思います。

座長 今まで懇談会に行っても、画面で「キエーロはこういう物ですよ」とPRしていた。こちらは解っていても、聞いている人はイメージが湧かなかったと思います。いこま魅力博で来場された市民に説明したら理解が得られて、今まで一方通行だったものを対面でPRしていくように変えてきた。こういう方法に使っていけば良いと思います。

事務局 今まで、機械式やコンポストとか結構お金を出さなければだめだったと思いま

す。今回は 500 円、ワンコインでできるので、低価格路線で進めていきたいと思えます。

座 長 いこま魅力博でも、500 円ならやってみようかという人も多かったです。

#### ●自治会懇談会について

事務局 <資料 自治会懇談会記録報告>

参加者 ひかりが丘の補足で、毎年 12 月初めに自治会で不用品交換会を実施しています。まだ使えるけれど、家では使わないものがあれば集会所に持ってきていただいて、要る物があれば自由に持ち帰ってもらえるということ、5 年ぐらい続けています。毎年、これを楽しみにしている人がいまして、ごみ減量市民会議のメンバーが来ていただいた時には、人だらけでごった返していて迷惑を掛けました。通常の自治会懇談会のような形で話ができるようなスペースもなかったですが、奥に喫茶スペースがありましたので少人数での懇談会をしていただきました。懇談会に参加した住民からは、良い話が聞けて良かったと言って貰えた。その中でキエーロについても興味をもってもらった。壱分町西自治会でもそうだが、実際に現物を見せて説明すると、普段から興味はあってどんな物かと思っていた人や、絵図だけを見ただけなら申し込まなかったが実際の話聞いてやってみようという人がいた。いろんな場所で自治会に限らず懇談会を実施して、説明すれば、モニターになっていただける方が増える可能性は大いにあると思えます。

座 長 ひかりが丘では場所がなかったという話だったが、3 つのグループに分かれてやったが、少人数に分かれたフェイスフェイスで対話ができるこういう懇談会も良かったと思えます。こういう懇談会を採用していくのも一つかなと感じました。いこま魅力博とひかりが丘・壱分町西自治会での 3 つの行事で 24 名の方がモニターになっていただきました。

参加者 懇談会にごみ減量市民会議のメンバーが入るということは、事前に話をしていたか。

参加者 役員には事前に話していたが、一般の方には特に広報はしていません。

参加者 もっとたくさんの人と対話できれば、より良かった。

座 長 今回は、懇談会を開きましょうということではなくて、集まりがあるから、来た人にアンケートを取って、小グループで話していきましょうという提案があって、実施させていただきました。

参加者 プランター de キエーロは冬場に消え難いので止めていく人がいる。交互に 2 台使えば冬場でも対応できるが、2 台目を希望する人があればどういふふうに対応してもらえるのか考えておいていただきたい。

#### ●生ごみ処理器「キエーロ」アンケート集計結果

事務局 <資料 アンケート集計(28.10)キエーロ製作講座報告>

参加者 効果がなかったという人は、多分入れる土がばらばら、良い土を入れた人は効果があつたが、良く無い土をいれた人は効果がなかった。これからはきめ細か

な指導をしていかなければいけないと思います。土であれば何でも良いということでは、処理を進ませるには難しいと思います。

座 長 先ほど「2台目を希望した人への対応」という話があったがどうですか。

事務局 対面での説明では1台で無理なら2台使えば良いと言っている。

座 長 モニターで1台目は500円だが2台目はいくらになるのか。

事務局 2台目もほしいと言われたら500円で良いと思います。

座 長 正式に内規で決めていただければ良いと思います。アンケート結果を見て、相対的に感じたことは、前向きに考えていただいている。一つの提案として、来年度以降でこういった方々と懇談を開いていくことも良いのではないかというふうに感じました。

#### 協議事項

##### ●先進地視察研修について

事務局 <先進地視察研修についての説明>

事務局 斑鳩町ではゼロ・ウェイストとあって、生ごみ処理のモデル事業の取り組みをされていまして、焼却炉の老朽化等で作り直しを止めて、三重の業者への搬出、燃やさない取り組み、生ごみの堆肥化の取り組みもされていて、そのあたりをお聞きしようかということでお伺いするというものです。

座 長 斑鳩町だから出来ているということもあるでしょうし、そのまま生駒市で出来るかどうか分からないのですが、聞いているところでは、生ごみ処理の仕組みがありそうだということで、生ごみの入れ物とか、ヒントになるものがあるのではないかということで、この勉強会にいても良いのではないかということと理解しております。

座 長 事務局の説明に質問等ございますか。

参加者 毎年されているんですか。

事務局 ゼロ・ウェイスト宣言ということで継続して行っておられます。

参加者 三重のどこに持って行っているのですか。

事務局 伊賀です。可燃ごみと生ごみの堆肥化は別に処理しておられます。

座 長 それでは、参加者の確認をします。

参加いただける方は、挙手をお願いします。

《参加者確認》

座 長 それでは、よろしくをお願いします。

事務局から説明ありますか。

事務局 ご参加いただける方には、別途、詳細の連絡をさせていただきます。

##### ●エコクッキング教室について

事務局 <エコクッキング教室について説明>

事務局 対象は、市内に住む「エコクッキング」に関心がある人で参加者の内訳は、育児ネット21組と広報での募集20名で行いたいと思います。内容は、「食品やエネルギーを無駄にせず、ごみを減らして、環境に配慮しながら楽しく料理をす

るエコクッキングの実践と試食」としています。

参加者 「健康づくり(推進員連絡協議会)」が所属している健康課も環境問題に力を入れはじめまして、食品ロスを健康づくりの大きな柱にしていこうということが新年度の計画に入っています。場所は、セラビーいこまを使って公募していこうと思います。ひかりが丘自治会でもコーヒーを飲みながら和気藹々と出来たのと同じように、喋りやすい環境づくりも大事にしていきたいと思います。まず、料理をつくる、料理をつくる中で出た袋やシールを使ってごみの分別についての話をして、若いお母さんと子どもも20組来ていただきますので、若い方がどういった意見を持っておられるかを教えていただくこともあると思います。やってみて結果はわかりませんが、楽しくやっていこうと思います。メンバーの皆さんも出席いただいてご協力いただきたいと思います。健康課と環境保全課からも職員の出席をいただいて生駒市の取り組みも説明いただきたいと思います。メインは魚料理と考えています。

座長 事務局の説明に質問等ございますか。

参加者 見学は出来るのですか。

事務局 メンバーの皆さんは、参加者でボランティアとして協力をしていただく、盛り上げていただく係で、主催は、ごみ減量市民会議で皆さんです。食品ロスのパンフレット等に配りものもあれば配らせていただきたいと考えております。よろしくをお願いします。

座長 それでは、参加者の確認をします。

参加いただける方は、挙手をお願いします。

《参加者確認》

座長 それでは、よろしくをお願いします。

事務局から説明ありますか。

事務局 ご参加いただける方には、別途、詳細の連絡をさせていただきます。

#### ●ごみ減量市民会議活動実績総括について

事務局 <資料 ごみ減量市民会議活動実績総括について説明>

座長 事務局の説明に質問等ございますか。

参加者 2点ございまして、まず1点目は、今後の活動について、壱分町東自治会では文化祭のイベントをされていますが、そういう場でシールアンケートを実施するとかキューロを持って行って広報するとか、ごみに関して人を集めてというのではなくて、夏祭り等は混雑していて無理だと思いますが、人が寄って話を聞いてくださる機会があればそういう所に行くのも良いのではないかと感じています。

2点目はごみ処理器の普及率についてで、当初生ごみ処理器の普及率はこんな

程度かなと発言させていただいたのですが、生駒市で今までこういう活動に関わらせていただいている立場から言えばまだまだ少ないとの発言をしたんですが、インターネットを確認してしましたら、特化して生ごみ処理器を普及しようと活動されているところは別として、全国的に見ればまだ生ごみ処理器の普及率は一桁の所が多いような気がします。生駒市の普及率は高いように思われますので、まだまだだという見方が一方と、今まで頑張ってきてかなり普及してきたという見方があるのかなと思います。事務局で普及率のデータがあるのであればまとめていただけたらと思います。

座長 後者の方は、事務局のほうでまとめられますか。データがなければまとめられませんが、どうですか。

事務局 ある特定の市とかになるかなという気がします。

座長 可能な限りで調査してまとめていただけたらと思います。

前者の方は、多分ひかりが丘のイベントに行って小グループで懇談が出来たり、シールアンケートが出来たり、ということで良かった点があったなということを出た発想かと思います。それも一つの案だと思います。

事務局 わざわざ特別な日をつくって集まっていただくというのも大変ですので、この前の壱分町西自治会も役員会会場でさせてもらって、全体会だったので、30人以上が集まってもらえたので、かなり有効だったと思いました。

参加者 アンケートの関連で、臭いが気になるという人がおられるが、一発で瞬間的に消える物がある。容器の準備さえしてもらえれば、必要があれば差上げます。極端に言えば、酢酸を水で薄めてスプレーすれば簡単に消えます。

参加者 ちゃんと使えば基本的に臭いは出ない。使い方の問題もある。

座長 土を掛けていない。臭いがでるのかと問われたときに、「何も掛けないで、生ごみを置いておくと何処でも臭いがでますよね」と言うのと納得してもらえます。もう1点、アンケートの中で使い方のマニュアルの評判が良かった。来年度は、臭いのことも含めて改善するのも手かなと思います。

事務局 プランターのタイプなら私でも作れるという人がおられた。講座用の組み立ての資料があるので、それも配れば製作していただける方もおられると思います。

座長 自分で作るという人や、作れないので完成品がほしいという人、いろんなバリエーションの人がおられるので、いろんな人に対応できるようなバージョンが必要だと思います。

参加者 活動総括ですが、懇談会とかアンケートとか入っているのですが、我々の最終的な目標は、平成30年までに25%削減という目標を掲げているが、それとどうリンクしているのか、実績を一度出してもらえませんか。こういう活動をしてきたけれど、25%に対して本当に下がっているのかどうか、下がっていなかったら活動内容を変えなければ、この状態を継続しても意味が無いと思います。年度末でも良いので出してほしい。

事務局 また資料を用意させていただきます。いま途中を見ていましたら、今年度は横

ばい状態が続いていますので、中々減る傾向は少ないと思います。

参加者 感覚的には減っているような気はしませんので・・・  
座 長 難しい問題です。この前の壺分町西でも 8 割方の人が減ったと言っており、感覚的には減ったとの実感がある。有料化した後に 11%減量して、一旦減った後で、横ばいが続いているというのが現実です。トライアルを 1 年半やった時の削減率は 3.7%だった。有料化という劇薬を入れたら 11%減った。どう評価するのは行政の方でずっと回答していた件があって、リバウンドという考え方がある。有料化検討会やトライアルのときに、ある学識経験者の方の話では「生駒市はリバウンドする典型的な市だ。」という触れ込みだった。一時期にごみが増えたときに、「リバウンドが始まっているのではないか」との声もあったが、行政は、「1 ヶ月や 2 ヶ月の短期ではなく、1 年 2 年のスパンで見たい」と回答していたように思います。ひょっとしたらリバウンドを抑えているのかも知れない。気が緩んだらボンとリバウンドする生駒市の特性があるという背景もあります。逆にどれくらいやったら、どれくらい減るという方程式が無い活動です。色んな知恵と汗を出してみましようというような感覚で進めている活動です。色んな対案を出してトライアルをしていかなければならないと思います。25%削減の根拠はどこから出ているのかがわからない。この会議で調査して、積み上げて 25%にしたものでもない。25%が間違っていると言っているのではなく、それくらい根拠を出しづらい活動をしていることを理解してほしい。現状で評価して、今の発言も考慮して、活動をすれば、10 万人の世帯は減らないかもしれないが、ひょっとすれば 100 人の世帯は減るかもしれない。いろんな取り組みをしていかなければならないと思っています。

事務局 はい。ご意見があれば事務局まで連絡してください。2 月には具体的な計画にしていきたいと思います。

座 長 貴重なご意見ありがとうございました。  
本日はこれで終了します。